

広報ぬまた Numata 3

2023.3.23

Vol.668

B・Bの登場に子ども達は大喜び



3/11 輝け雪のまちフェスタ2023

今月の主な内容

- ★そらち自然学校オープン・・・2
- ★地域おこし協力隊員紹介・・・4
- ★まちしぽ・・・・・・・・・・8
- ★新事業所などがオープン・・・15
- ★ぬまたっ子大活躍・・・・・・・・16
- ★輝け雪のまちフェスタ・・・・17
- ★元気村・夢の農村塾生募集・・・18
- ★沼田警察庁舎から・・・・・・・・19
- ★沼田消防から（消報）・・・・20
- ★生涯学習ゆめっくる・・・・21
- ★図書館バックヤード・・・・22
- ★ふれあいインフォ・・・・23
- ★まちの話題と人の動き・・・・24



JRの列車に乗ろう!!

沼田町は JR 北海道を応援しています

鉄道は北海道の礎、未来へつなごう先人の思い

JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。

■お問合せ 産業創出課 ☎35-2155



沼田町ほろしんの森に

そらち自然学校が オープンします

令和5年4月1日（土）、幌新地区に「そらち自然学校」がオープンします。

平成30年度から取り組んできた本事業のこれまでの経過や、実際に体験できるアクティビティについてご紹介します。



▲自然学校の拠点となる「ほたる学習館」

これまでの経過

平成30年度から、町内全域に在する豊かな自然、観光資源及び歴史的文化財といった地域資源の可能性調査事業「沼田町まるごと自然体験プロジェクト」に取り組んできました。

「沼田町化石体験館」「ほたる学習館・炭鉱資料館」「クラウス15号」といった沼田町の歴史・文化・地質に関わる博物館系の施設、宿泊施設の「ほろしん温泉ほたる館」やキャンプ場など、沼田町の資源の多くは幌新地区に存在することから、幌新地区を「町民自身が自慢したくなる場所」「人材・商品・情報・価値などが集まり、地域資源とともに宝に変える（稼ぐ）場所」にしていくため、その実行組織として「そらち自然学校」の開設を目指して活動してきました。今年度は、地域おこし協力隊の

スタッフ3名が中心となりながら、オープンに向けて、アクティビティの開発やスキルアップに励んできました。

例えば、クラフト作家やアドベンチャーガイド、鳥類や樹木の研究者など、特定の職場を持たない様々な技能を持った人材（ノマドワーカー）を招いてワークショップを開催したり、「森のようちえん」「長靴レンジャー」「森のマルシェ」等の事業を親子向けに実施したり、馬を活用した森の環境整備を進めるなど、コロナ禍で思うように活動できない期間もありましたが、試行錯誤しながら準備を進めてきました。

令和5年4月からは、自然学校のイベント等の実施は運営するNPO法人が行うことになっております。



▲馬を活用した森の環境整備と動物とのふれあい



▲森の材木を使った木工クラフト



▲雨竜川でのSUP（サップ）体験



地域おこし協力隊
大竹 将太 隊員

アクティビティ

沼田町ならではの資源を活用したアクティビティの開発を進めてきました。

沼田町は石狩平野と山間部の際に位置しているため、農用地や里山資源が豊富にあります。根雪も早く、スノーシーズンのアクティビティを他の地域よりも先にスタートできる強みがあります。

また、多雪地帯ならではの水の豊かさがあり、雪と同様にダムや用水路などの利水の技術や歴史も

+++ 体験できるアクティビティ +++

- ・森のようちえん
- ・動物とのふれあい
- ・テントサウナ
- ・SUP (サップ)
- ・木工クラフト
- ・ラフティング
- ・羊毛クラフト
- ・川エビ採り
- ・ネイチャーガイド
- ・樹液採集
- ・焚き火
- ・スノーシュー

など

特筆すべき資源であり、雪や水にふれあうアクティビティには最高の環境です。

地域おこし協力隊
笠田 大介 隊員



▲ファンが増加中の「ゆきまちサウナ®」

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
					到着	オリエンテーション	昼食準備	昼食	動物とのふれあい	自然体験プログラム		夕食準備	夕食	片付け	入浴	ナイトプログラム	就寝準備	睡眠
起床	朝食準備	朝食	片付け・清掃	自然体験プログラム or 木工クラフト			終了・解散											

▲例えば、こんな使い方もできますよ！

自然学校での楽しみ方 (活動例)

自然学校への期待

沼田町は、夜高あんどん祭りの開催される時期は町内外からの観光客で町全体が盛り上がりますが、その他の季節に町内外の方に楽しんでいただける場所がなかなかありませんでした。

そらち自然学校は、化石体験館やほろしん温泉などと連携し、まずは町民のみなさんが改めて幌新地区の魅力を再発見でき、町外の方に夜高あんどん祭りの他にアピールできるものとして、また、町外の方に初めて沼田町に来ていただくきっかけとなるよう、活動を進めていきます。

町民のみなさまのご理解と、ご利用を心よりお待ちしております。



地域おこし協力隊
高橋 芽久 隊員

●このページに関するお問合せ

役場産業創出課

そらち自然学校準備室

(電話351-2155)

地域おこし協力隊員が活動中です！

現在 16 名の隊員が、沼田町の発展のためにそれぞれの分野で活動していますので、ご紹介します。



きつぎ だいすけ
木次 大介さん

任期：令和2年4月から
(生涯学習支援員)

沼田町の児童・生徒の学力向上や、町民の皆さんの暮らしを豊かにする生涯学習に関する活動を続けており、公設塾「みらい」をはじめとする児童・生徒の学習サポートや、社会教育・体育振興事業の企画・運営をしています。



むらかみ しんご
村上 信吾さん

任期：令和2年7月から
(産業づくり支援員)

まちの新たなPR産業として、クラフトビール醸造に取り組み、町内にクラフトビール産業を作り上げ、まちの活性化に繋げることを目的に活動しています。

今後も、各種イベントにおける試験販売を行いながら、町内外との関係性を深め、醸造所開設に向けた取り組みを行っていきます。



おおたけ しょうた
大竹 将太さん

任期：令和3年4月から
(観光支援員)

4月の「そらち自然学校」のオープンに向けて、馬・羊などの動物とのふれあいや木工クラフトなどの体験プログラムを提供し、沼田町の自然を楽しんでいただけるように活動しています。

今後も多くの方に、ネイチャーバトラー（自然の中での世話人）として自然の楽しみ方を伝え、町の魅力発信と活性化に繋げていきます。



はしもと こうたろう
橋本 幸太郎さん

任期：令和3年5月から
(有害鳥獣駆除員)

農業をはじめとする様々な鳥獣による被害を防止するため、有害となる鳥獣の駆除を行いながら、その技術を町内に広めています。

町民の方々の農作物と生活を守るため、引き続き、一生懸命活動してまいります。

協力隊の仲間たち



ながお やすたか
長尾 康岐さん

任期：令和3年10月から
(ICT教育推進員)

ICTを活用し教育環境を充実させることで、ぬまたっ子の学力向上に繋がるよう活動をしています。

今後は、学力だけではなく、関連する情報モラル教育など、ぬまたっ子の生きる力を育む活動をしていきます。

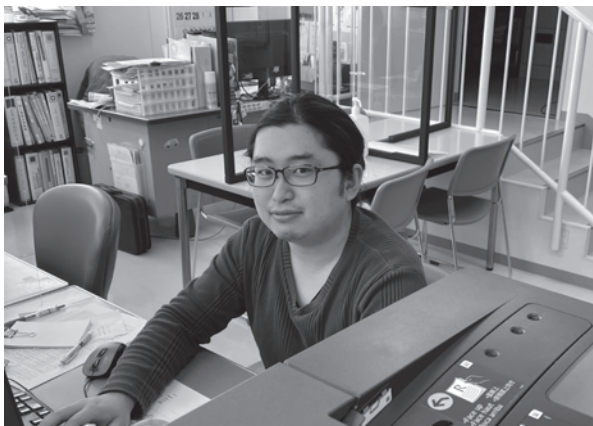


たかはし めぐ
高橋 芽久さん

任期：令和4年1月から
(観光支援員)

令和5年4月の「そらち自然学校」のオープンに向けて、親子対象の「森のようちえん」、「ゆきまちサウナ®」などのプログラムを提供し、ほろしんの森を楽しんでいただく活動をしています。

今後は、自然の中で「食」に関するプログラムを提供するなど、ほろしんの森の可能性をもっと広げていきます。



すぎまた てっぺい
杉俣 哲平さん

任期：令和4年2月から
(加工支援員)

北のほたるファクトリー（沼田町農産加工場）で製造した商品の検査や出荷管理を行う品質管理の仕事を主に行っています。

沼田町の特産品である完熟トマトジュースはとても美味しいと町内外の方から高く評価をいただいております。これからも安心安全な商品をお届けできるよう活動していきます。



やまなか けんじ
山中 健児さん

任期：令和4年4月から
(観光支援員)

沼田町観光協会でも物販やイベント全般の運営補助をしつつ、自身が企画したイベントを実施しています。

様々な催しに携わって得た経験を活かし、今後も沼田町の観光をユニークな発想で盛り上げられるよう活動していきます。

協力隊の仲間たち

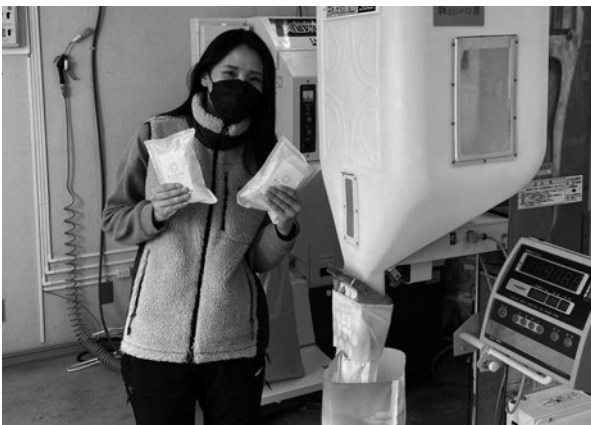


かさだ だいすけ
笠田 大介さん

任期：令和4年4月から
(観光支援員)

4月の「そらち自然学校」のオープンに向けて、沼田町の自然を楽しんでいただけるガイドができるよう、ほろしんの森で日々活動をしています。

今後は、自然ガイドや自然の中でのダンボール製テント「DANDANDOME」を通じたプログラム開発等、企業との連携による森づくりを進めていきます。



たかはし みゆ
高橋 美優さん

任期：令和4年4月から
(農業支援員)

空知こめ工房で活動しており、お米やお花を中心に農業について学んでいます。

今後の目標は、農業についての知識を深めることと、沼田町の農業について、もっと広く知ってもらうために様々な活動をする予定です。



わたなべ しんや
渡邊 晋也さん

任期：令和4年5月から
(地域福祉推進員)

沼田町社会福祉協議会の運営や各種福祉事業に取り組んでいます。

今後も、沼田町民の皆さまとの交流を大切にしながら「福祉×沼田町の良いところ」の化学反応をおこし、より良いものを生み出せるよう活動していきます。



かさい まなみ
笠井 麻菜美さん

任期：令和4年5月から
(農業支援員)

就農支援実習農場で農業に従事しており、日々、いちごやシイタケ、加工用トマト及びミニトマト栽培を行なっています。

今後、更に多くのことを学び、農業者として沼田町において小規模農業経営を目指した活動をしていきます。

協力隊の仲間たち



あおやぎ りくみ
青柳 利久未さん

任期：令和4年5月から
(まちづくり支援員)

まちづくりぬまたの運営から顧客対応まで、全般の業務を行いながら、商社に求められる働きを学んでいます。

今後、まちづくりぬまたが地域に必要な機能を作り出し、皆さまに愛される地域商社となるよう活動していきます。



なかしま りほ
中島 里帆さん

任期：令和4年5月から
(児童教育支援員)

小学校で児童教育のサポートを行っています。

これからも、子ども達との触れ合いを通じて多くのことを学び、大好きなぬまたっ子の成長の一助となれるよう活動を続けていきます。



いけだ はやと
池田 隼人さん

任期：令和4年6月から
(グルメ開発支援員)

グルメ開発に係る活動を行う傍ら、本通3丁目でピザ屋 (PIZZERIA 9PIECE) を営んでいます。

今後も沼田町の素材を使用したオリジナルメニューの考案や、新たなご当地グルメの開発を目指して活動していきます。



しろした たかし
城下 孝さん

任期：令和4年12月から
(映像クリエイト推進員)

動画を制作・配信し、沼田町のすばらしい魅力を世界中の方々にお届けする活動を行っています。

これからも、沼田町にある多くの魅力にスポットを当て、知って・訪れて・体験して・愛して・住んでいただくための一助となるよう活動していきます。

2 / サウナテントであふれる村へ

4 ゆきまちサウナ® ヴィレッジがオープン

ゆきまちサウナ® ヴィレッジオープニングイベントが2月4日（土）ほろしんの森で開催されました。

ゆきまちサウナヴィレッジとは、そらち自然学校が豪雪地帯の特徴を活かした冬にサウナを楽しめる環境を毎週末提供（要予約）する事業です。

サウナテント3棟で使用する薪は風倒木や枯損木ふうとうぼく こそんぼくを利用しており、「こころ」「からだ」「もり」ととのえることができ、サウナ利用者とほろしんの森を繋ぐ活動となっていて、この日は15名の参加者を楽しませました。

参加者からは「こんなに雪が降っている中で薄着のまま外にいられる体験ができて幸せ。」と感激の声が聞かれ、そらち自然学校の高橋芽久さんは「サウナテントは持ち込み可能なので、いつかサウナテントでいっぱいになるような村を目指したいです。」と心意気を語っていました。



2 / 毎年ありがとうございます

6 JA 北いぶき女性部沼田支部より寄贈

JA北いぶき女性部沼田支部（生田ユカリ支部長）から2月6日（月）、雑巾を寄贈いただきました。

雑巾は毎年寄贈いただいているもので、生田支部長のほか新役員4名が役場を訪れ、80枚の雑巾を横山町長へ手渡され、横山町長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の意を伝えました。



2 / 利雪について学びました

7 沼田小学校利雪学習

全国でも先進的な取組として知られている沼田町の雪利用について学習し、地域の自然やそれを活かした地域の取組を知ってもらうことを目的に、沼田小学校（中川浩之校長）3年生を対象に利雪学習が行われました。

最初にゆめっくるで利用されている雪冷房の仕組みや、貯雪できる雪の量などについて話をした後、雪の科学館へ移動し「貯蔵している野菜はどんな種類があるか。」「どうして野菜を入れるのか。」などについて説明をし、お酒も貯蔵しているという話に児童たちは「えー！」と声をあげ驚いていました。



2/9 みんなで健康維持 楽ワザ介護教室

高齢者の冬期間における体づくりなどを目的に、「楽ワザ介護教室」を2月9日（木）暮らしの安心センターで開催し、16名が参加しました。

講師には、介護アドバイザーで町介護施設を中心に指導を受けている青山幸広氏を招き、長生きで楽しく生きる秘訣「健康寿命・いきいき寿命9カ条」について話されました。

講演後、参加者と一緒に冬に備えた転倒しない体づくりのリハビリ体操を行い、参加者は終始笑顔で今回の教室を楽しんでいました。



2/11 懐かしいウェアで楽しみました 第4回全日本（笑） オールドスタイルスキー技術交流会

1980年～90年代の用具や当時のスキーウェアを着てスキーを楽しむ「第4回全日本（笑）オールドスタイルスキー技術交流会」が2月11日（土）ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催されました。

札幌や旭川、苫前町など町内外から20人が参加し、一昔前の細く真っすぐなスキー板でウェーデルンやシュテムターンなど当時の技術を使って滑る4種目で得点を競いました。

深川市から参加した60代男性は「リフト・ロッジが新しくなったことを知って、スキー用具を探して20年振りに滑りました。とても滑りやすくて当時を思い出しながら楽しく滑ることができました。」と笑顔で話されていました。



2/12 パラリンピアンが登場！ 第73回町民スキー大会

第73回町民スキー大会が2月12日（日）ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催されました。

今回は、国際スキー連盟がスノースポーツの普及として一般社団法人N-linkと連携し、冬季パラリンピックアルペンスキー座席で金メダルを3個獲得した狩野亮さんが特別ゲストとして参加してくれました。

開会式で横山町長は「スノースポーツに親しみ、トップアスリートの滑りを見て刺激にしてほしいです」と話され、その後、狩野さんが頂上から滑って登場し、会場にいた全員がその滑りに圧倒されていました。

大会では、大回転競技（スキー、スノーボード）が行われ、町内外42人が参加したほか、スキー・スノーボードの無料レッスンなどが行われました。



2 / 普通救命講習会を実施しました

13 沼田消防団救命講習会を開催

災害時などの団活動において救助時の救命率の向上を図るため、2月13日（月）沼田消防団員が参加し「普通救命講習会」を開催しました。

職団員31名が参加し、訓練用人形やAEDなどを使用して、コロナ対応の心肺蘇生法・止血法・喉に異物が詰まった時の対応法など約3時間の講習を受けました。

小西克典団長は「この訓練が救命率の向上につながり、今後の団活動に活かせるよう期待しています。」と話されていました。



2 / 視察結果を発表しました

16 沼田町議会町民フォーラム

沼田町議会が主催した町民フォーラムが、健康福祉総合センターふれあいで開催されました。

24名が参加したフォーラムでは、総務民教建設常任委員会と産業福祉常任委員会が、令和3年から令和4年に視察し研究した結果をスライドにまとめ発表しました。

開会にあたり、小峯聡議長は「コロナ禍で、視察を受け入れてくれるところが少なく苦労したが、とても詳しく調査することができた。」と挨拶されました。

総務民教建設常任委員会は「地球環境対策について」、産業福祉常任委員会は「地元加工品の開発と販売の促進」をテーマに発表し、それぞれ終了後に質問が出され、参加した町民と意見交換を行いました。



2 / 全国の地酒を楽しみました

17 地酒祭り

3年ぶりとなる地酒祭りがほろしん温泉ほたる館で2月17日（金）開催されました。

北は北海道、南は沖縄県まで全国から35種類の地酒類が集められ、町内外から100名を超える参加者は、どのお酒を飲むか迷いながら全国の地酒を堪能していました。

また、豪華景品が当たるじゃんけん大会や抽選会も行われ、会場は大盛り上がりでした。



2 / 列車も満席です

18 明日萌駅冬フェスタ第2弾

石狩沼田～留萌間が3月31日で廃線となるのを前に「明日萌駅冬フェスタ第2弾」が2月18日(土)～19日(日)明日萌駅(恵比島駅)で開催されました。

会場では恒例の留萌本線グッズや沼田町の特産品が販売され、町特産品である「雪町コーヒー」が振舞われるなど、多くの賑わいを見せていました。

台湾から来た20代男性は「寂しいことだが、日本の鉄道が廃線になる度にきていて、今回の来日で4回目。今日は留萌本線にきたが、雪のある風景が素晴らしく、廃線になるのがおいしい。」と話していました。



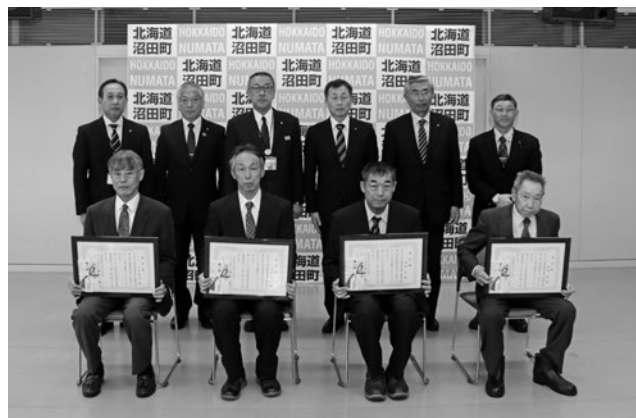
2 / 高品質米生産者へ授与

24 沼田町高品質米優良表彰式

町施設に出荷された「うるち米」品種を対象に、低たんぱくで出荷比率が3年連続100%を達成している農業者に対し、沼田町高品質米優良表彰を2月14日(金)授与しました。

この表彰は本年度から設けられ、初めてとなる今回は、山本孝司氏(沼田3)、今村克仁氏(旭町東)、澤田彰氏(共成)、中村敏光氏(共成)、長場諭氏(北竜3)の5名が表彰され、横山町長、黒田洋一組合長から、表彰状と金一封が贈られました。

横山町長は、「長年の高品質米の生産に感謝しています。これからも生産者の見本として、より多くの高品質米生産者が増えて、より沼田農業が発展していくことを願っています。」と受賞者を激励しました。



2 / めまたをサウナのイメージに

25 HOROSA～森と雪とサウナでととのう会～

沼田町の有志が募り、幅広くまちづくり事業を手掛ける「ゆきものがかり(藤村健一会長)」が主催した、「HOROSA～森と雪とサウナでととのう会～」が、そらち自然学校の協力のもと、2月25日(土)ほろしんの森で開催されました。

ゆきものがかりメンバーの堀祐介さん(北竜3)を中心に、ほろしんからサウナを広め、沼田町を盛り上げたいとHOROSAと名付け、サウナテントを体験できるイベントを実施しました。

イベントには23名が集まり、ほろしん温泉の源泉をサウナストーンにかけてロウリュウを楽しみ、雪山にダイブしたり、雪を掘って水を張ったアヴァント(水風呂)に浸かったりして満喫していました。

藤村会長は「若い人たちが企画したイベントが成功して良かった。参加者も満足してくれているようで嬉しい。豊かな自然とサウナの相性に可能性を感じている。」と話されていました。



2 雪を利雪型米貯蔵庫を整備

28 有限会社H J Yさくらへ補助金を交付

農業法人有限会社H J Yさくら（山岡禎弘代表取締役）が、雪冷熱エネルギーによる利雪型米貯蔵庫を整備したことに對して、沼田町再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金を交付しました。

当補助金は、ゼロカーボンシティ宣言を基本に脱炭素社会の実現を目指したカーボンニュートラルの取組について推進することを目的に、雪冷熱エネルギーなどの再生可能エネルギーを活用した設備を設置する場合に支援するものです。

2月28日（火）行われた交付式で横山町長は「雪エネルギーを活用した施設整備に感謝します。新たな雪中産品が生まれ、国内外に沼田町を知ってもらえることを期待しています。」と述べられ、山岡代表取締役は「もともと雪冷房に興味があった。まずは、米を貯蔵して“桜雪の米”というブランドとして雪冷房を知ってもらい、今後はほかの野菜の貯蔵も試して可能性を探っていきたい。」と話されていました。



3 多くの鉄道ファンで賑わい

4 ありがとう留萌本線フェスタ

3月末で廃止される明日萌駅（恵比島駅）で3月中の土日祝日に「ありがとう留萌本線フェア」（主催：旭川市鉄道雑貨の店ぽっぽや）が開催されています。

初日の3月4日（土）は、道内外から訪れた多くの鉄道ファンで賑わい、毎回違う包装紙で包まれた「明日萌駅特製弁当」などを購入していました。

埼玉県から来た50代女性は「最近好きな鉄道に乗るために毎月北海道に来ています。今晚は、ほろしん温泉ほたる館に泊まるので温泉も楽しみです。」と話していました。



3 たくさんのご来場ありがとうございました

5 ASHIMOI KANKO高穂スキー場クローズ

今シーズンからリフト・ロッジが新設され、リニューアルオープンしたASHIMOI KANKO高穂スキー場が、3月5日（日）をもって今シーズンの営業を終了しました。

雲一つない青空が広がったこの日、多くのスキーヤーやスノーボーダーが集まり、シーズン最後の滑りを楽しんだほか、沼田スキー学校主催によるクローズ検定が行われ、検定を受けている子ども達をロッジやゲレンデの下から多くの保護者が様子を見守っていました。



3

半纏を受け取り笑顔

7 中学校3年生に卒業記念半纏贈呈

今年卒業を迎える中学3年生に、横山町長から卒業記念として夜高あんどん祭りの藍染の半纏が贈呈されました。

半纏贈呈の前の、横山町長からの講話では「まず、お世話になった先生方、家族に感謝の気持ちを伝えてください。これから社会に羽ばたいて沼田を離れても、沼田・家族・友人を忘れず、皆さんの一番の応援団ということを忘れないでください。沼田町の宝である皆さんが様々な場面で活躍することを楽しみにしています」と自身の経験を踏まえながら話されていました。

その後、横山町長から一人ずつ半纏と自分の名前が彫ってある木札を受け取った生徒達は、半纏を着た自分の姿を見て喜びの笑みがこぼれていました。



3

あいさつで明るい沼田町へ

8 あいさつ運動ポスター・標語コンクール表彰式

沼田学園学校運営協議会（岡本佳彦委員長）が主催する「あいさつ運動におけるポスター・標語コンクール」の表彰式が、3月8日（水）沼田中学校・小学校で行われました。

沼田町では、子ども達の学びや成長を地域全体で支えていくために「あいさつ運動」を推進しており、運動への意識付けとして、沼田小・中学生を対象に作品を募集しました。

「町民にあいさつの大切さを呼びかけるポスター・標語」というテーマで小学生ポスターの部83点、中学校ポスター・標語の部20点の応募があり、沼田学園学校運営協議会で審査の結果、19点が入賞し、岡本委員長から賞状と図書カードが手渡されました。

岡本委員長は「たくさんの応募ありがとうございました。どの作品も良くて選考するのが大変でした。家族・学校・地域の方々に元気に挨拶をして明るい沼田町を目指しましょう。」と述べられました。



【小1の部】（ポスター）	【小2の部】（ポスター）	【小3の部】（ポスター）	【小4の部】（ポスター）
金賞 谷本 桜さん	金賞 土田 桃子さん	金賞 伊藤 千咲さん	金賞 一戸 結愛里さん
銀賞 山本 千晶さん	銀賞 渡邊 碧海さん	銀賞 清野 陽葵さん	銀賞 藤田 帆奈さん
銅賞 梅田 栞菜さん	銅賞 平泉 詩羽さん	銅賞 岩井 昂月さん	銅賞 上野 快さん

【小5の部】（ポスター）	【中2の部】（ポスター）	【中3の部】（標語）
金賞 鵜野 遥成さん	金賞 野田 優心花さん	金賞 長井 栞奈さん
銀賞 野田 笑美菜さん		銀賞 石黒 日菜さん
銅賞 木村 琴羽さん		銅賞 多田 悠朔さん

3 / **さらなる躍進を願い**

8 JA 北いぶき青年部、スノーメッセージ作成

沼田町、秩父別町、妹背牛町で構成されている JA 北いぶき青年部（中村敏光部長）が旧沼田厚生クリニック跡地に、スノーメッセージを作成しました。

スノーメッセージは、毎年北いぶき管内の町で作成されており、今年は沼田町が会場で行われました。

作業は2日間にかけて行われ、3月8日（水）には JA 北いぶき青年部員 37 名が集まり、4m×8m の雪壁に「躍進」の文字が作り出されました。

中村部長は「今年の JA 空知青年部連合会のテーマが“躍進”ということで、北いぶき管内の町がさらに躍進できるように願いを込めて作成しました。」と話されていました。



3 / **卒業おめでとう**

11 沼田学園沼田中学校第55回卒業証書授与式

沼田学園沼田中学校（里館幹彦校長）の第55回卒業証書授与式が、3月11日（土）に沼田中学校で執り行われました。

卒業生の名前が順番に呼ばれると、里館校長から卒業生一人一人に卒業証書が渡され、生徒の大きくなった姿に保護者らはカメラ片手に今までの成長を思い起こしていました。

最後に卒業生を代表して多田悠朔さんから「中学校での経験は、これからの人生の道しるべになると思います。みんな進む方向は違うかもしれませんが、将来誇らしい報告ができるようがんばります。」と挨拶をされました。



まちの話題を募集しています

「まちの話題」などがございましたら、町民の皆様の情報をお待ちしております。

ご気軽に総務財政課広報情報グループまでご連絡ください。

○お問合せ先

総務財政課広報情報グループ TEL : 0164-35-2111
FAX : 0164-35-2393

新しい事業所などがオープン

沼田町がもっと賑やかに

地域活性化へ期待

株式会社キョウエイアドインターナショナル

交通広告や自治体の広告などを取り扱っている、株式会社キョウエイアドインターナショナル（本社：東京都千代田区）が、地域活性化の取組として沼田町にサテライトオフィスを2月15日（水）開設しました。

これは地方創生に取り組む同社が、沼田町がワーケーション等に積極的に取り組んでいることに共感したもので、全国で初めての開設となったものです。

キョウエイアド社の担当者は「沼田町の方を雇用させていただき、お互い良い関係になりたい。当社としてテレアポセンター業務を進める第一歩が踏み出せた。今後は沼田町の未来のためにがんばりたい。」と話し、今後沼田事務所では10名の雇用を予定しています。



新店舗で営業開始 千（せん）

気軽にお酒を楽しめる「千」が、新たに店舗を新築して営業を開始しました。

新店舗には焼肉台が設置され、ビールなどの酒類を飲みながら、小林ジンギスカンやホルモンが食べられるほか、収容人数も25人と旧店舗から倍近くのお客さんを迎えることができるようになりました。

来店していた20代男性は「掘りごたつで居心地がよく、気軽に小林ジンギスカンが食べることができて嬉しいです。また友人と来店したいです。」とジンギスカンを頬張っていました。



企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税をいただいた企業様をご紹介します。

なお、公表についてご了承をいただいた企業様のみ掲載しております。（敬称略）

会社名	所在地	寄附いただいた事業	寄付額
エヌユーコンサルタント株式会社	旭川市	沼田町まるごと自然体験プロジェクト	-

ぬまたっ子が大活躍！！

全国の舞台へ

山森星空さん、全国大会に出場！

1月27日～29日ルスツリゾートスキー場（留寿都村）で行われた第60回全日本スキー技術選手権大会北海道予選会で、旭川大学高校3年生の山森星空さん（仲町西）が見事、予選を突破し、3月9日から白馬八方尾根スキー場（長野県）で開催される、第60回全日本スキー技術選手権大会へ出場を決めました。

山森さんは「全日本選手権大会は初めてですが、自分の滑りができるように楽しく滑り、まずは予選突破を目指して頑張ります。」と力強く話されていました。



初出場で全国大会へ

馬狩柊斗君、全国大会出場！

沼田中学校3年生の馬狩柊斗君（市内5）が昨年10月8日に開催された第25回北海道クラシックパワーリフティング選手権大会高校男子59kg級に出場し、みごと第2位に入賞し、佐賀県で行われる全国大会への出場を決めました。

出場報告に役場を訪れた馬狩君に横山町長は「自分との戦いになると思うので、日々の練習の成果を発揮できるように頑張ってください。」と激励しました。

馬狩君は「中学生最後の大会になるので、自分で決めた目標を超えたいです」と話されました。



目頃の練習の成果が開花

第34回昭和山国際雪合戦で準優勝

町内の雪合戦同好会「NMT」（片山道敏監督）が、2月25日（土）26日（日）壮瞥町で開催された「第34回昭和山国際雪合戦」の上位クラスである一般の部に参加し、初めて予選から決勝トーナメントに勝ち上がり、みごと準優勝しました。

チームは年中練習を行っており、特に1月からは毎週末欠かさず札幌で強豪相手との練習試合をこなしてきたことで、フォワードの戦力アップなどが図られこの度の結果となりました。

3月2日（木）、横山町長に入賞の報告に訪れた馬狩貫太さんは「うれしさよりも、悔しさがある。引き続き練習に励んで来年は絶対に優勝したい。」と力強く話していました。



輝け雪のまちフエスタ2023



3年ぶりの開催となった輝け雪のまちフエスタ（中村敏光実行委員長）が3月11日（土）旧沼田厚生クリニック跡地で開催され、町内外から約200名が来場しました。

会場には、巨大すべり台やスノーモービル、雪像が作成され、子ども達が楽しめるアトラクションが設置されたほか、お昼には、商工会女性部による100円カレーが販売されました。

今年、日本ハムファイターズマスケットキャラクターのB・Bが登場し、子ども達と写真を撮ったり、すべり台を滑ったりするなど、会場を盛り上げてくれました。

また午後から開催された雪中運動会にも参加し、子ども達と交流しました。

中村実行委員長は、「子ども達が喜んでくれてとても良かった。B・Bも遊びに来てくれて、来年以降も雪フエスタが続き、沼田町に訪れてくれるきっかけになれば嬉しいです。」と話されました。



元気村・夢の農村塾とは？

北空知管内（沼田町、深川市、妹背牛町、北竜町）の農家約20戸が農業体験受入グループを作り、中学生や高校生を受け入れています。

体験学習や修学旅行のひとつを、農業体験やそこでしか食べることができない新鮮な野菜を料理して食べたり、北空知の広々とした環境で植物や動物、大地と共に過ごして、子ども達の成長を見守ります。

令和4年度の主な受入実績

日付	学校	内容	人数	受入戸数
6月20日・21日	大阪聖光学院高校A班	宿泊	27人	7戸
6月22日・23日	大阪聖光学院高校B班	宿泊	28人	7戸
6月22日	京都堀川高校	日帰り	45人	5戸
8月25日	拓殖大学	日帰り	3人	2戸
8月26日	拓殖大学	日帰り	3人	2戸
10月27日	京都府立鴨沂高校	日帰り	78人	13戸
				181人（延べ184人）

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症拡大のため、受入を中止した学校もあります。

お問合せ・入会連絡先

農業体験受入にご興味のある方なら、どなたでも入会することができます。興味のある方や入会希望の方は下記までお問合せ下さい。

元気村・夢の農村塾

塾長 村上 はるみさん

TEL：090-1386-5100

沼田担当

植木 千鶴さん

TEL：090-3775-4988



▲ 10/27 京都府立鴨沂高校の生徒を受け入れた際の様子（沼田町）

「元気村・夢の農村塾」
会員を募集しています!!

第22回総会が開催されました

「元気村・夢の農村塾（村上 はるみ塾長）」の第22回総会が2月8日（水）アグリ工房まあぶ（深川市）で開催されました。

総会后には、そらち DE い〜ね事務局の大屋誠一氏から空知の農業体験の受入状況やこれから農業体験受入に求められるものについて講演があり、参加者は聞きながら話を聞いていました。





深川警察署

沼田警察庁舎あんぜん広場 ☎ 35-3110



令和5年度（第1回）北海道警察官採用試験 「あなたにしかできない仕事がある」

- 試験実施日 令和5年5月14日（日）
- 採用予定人数 200名程度
男性A区分（大卒） 115名程度、男性B区分 35名程度
女性A区分（大卒） 35名程度、女性B区分 15名程度

【年齢】 平成3年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者
（令和6年4月1日現在で18歳以上33歳未満）

3 アピールポイント

- 「あなたの個性や特技を生かせるフィールドがあります」
- 「仕事も私生活も充実させたい、その思いをかなえます」
- 「受験しない理由が見つからない」
- 「まずは北海道警察について知ろう」

説明会の案内は、北海道警察ホームページや採用センターのSNSを御覧ください。

【受験申し込み受付】

令和5年3月1日から申し込みを受け付けております。興味のある方、受検してみようとお考えの方、最寄りの警察施設若しくは、『沼田警察庁舎』にお問い合わせください。

「ヒグマとの事故を防ぐために」

- 複数で行動し、音で存在を知らせましょう。
- ヒグマの出没情報等に気を付けましょう。
- 残飯や生ゴミの処理には注意しましょう。
- フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう。
- 落ち着いて行動しましょう。

犯罪の発生状況（令和5年2月末現在）

町内における犯罪件数

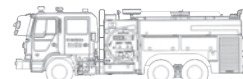
	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和5年	1	1	0	0	0	2
令和4年	1	1	0	0	0	2

交通事故の発生状況（令和5年2月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和5年	0	令和5年	8
令和4年	0	令和4年	11

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



春の火災予防運動が始まります！

4月20日（木）から30日（日）までの期間、全道春の火災予防運動が始まります。空気が乾燥し強風が吹くなど火災が発生しやすい気候となる時期を迎えるにあたり、町民一人ひとりが防火意識を高め、火災の発生を未然に防ぐことを目的に実施します。

沼田消防では期間中、次の行事を実施しますので町民皆様のご協力をお願いします。

期間中の主な行事

- ①夜9時にサイレン吹鳴
- ②全町防火パレード
- ③夜間車両巡回
- ④防火査察
- ⑤消防団出動訓練

全国统一防火標語「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

緊急消防自動車接近してきた時の対応をご存じですか？

毎年、全国的に緊急消防自動車の事故が発生しています。沼田町内においては町民の皆様の協力により事故は発生していませんが、沼田町内に限らず、外出先等で緊急消防自動車接近してきた経験はないでしょうか。そんな時、落ち着いた運転、行動ができるよう下記内容を確認して下さい。

緊急消防自動車が接近してきた場合には、次のような対応をお願いします。

（道路交通法第40条より）

■ 交差点又はその付近の場合

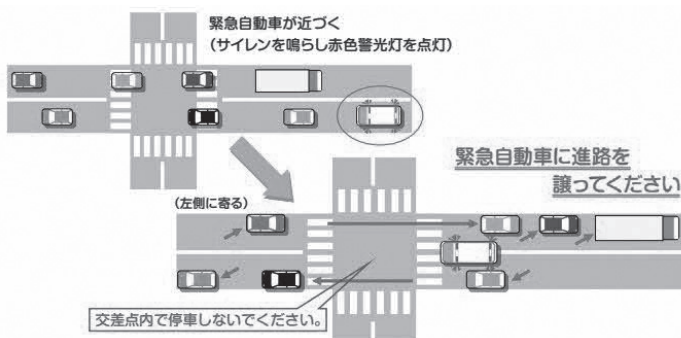
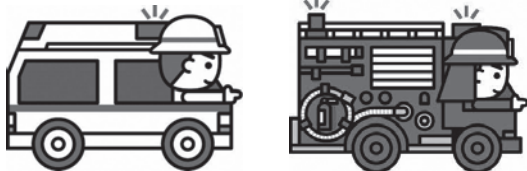
- ・ 交差点を避け、かつ、道路の左側（一方通行となっている道路においてその左側に寄ることが緊急自動車の通行を妨げることとなる場合は、道路の右側。）に寄って一時停止して下さい。

■ 交差点又はその付近以外の場合

- ・ 道路の左側に寄って、緊急自動車に進路を譲って下さい。

※進路を譲らなかった場合、緊急車妨害等違反として反則金及び違反点数の罰則に問われることがあります。

（道路交通法第40条及び第41条の2より）



消防署からのお願い！！

消防車や救急車は1秒でも早く現場に到着するため、「安全」「確実」「迅速」な緊急走行を心掛けています。消防車や救急車は多くの資機材を載せているためすぐには停まれません。

そのため、消防車や救急車が接近してくるのがわかったら、早めに進路を譲って頂くようお願いいたします。



令和4年度 あいさつ運動における
ポスター・標語コンクール作品紹介

ポスター部門

沼田学園学校運営協議会主催のコンクールが今年度も開催され、多くの児童・生徒さんから作品が寄せられました。各学年の金賞作品をご紹介します。



小学1年生部門
谷本 桜さん



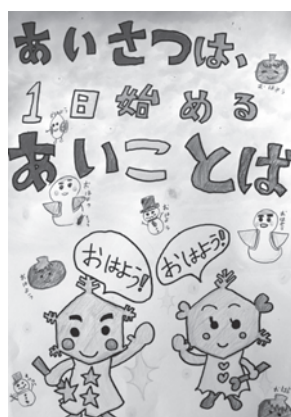
小学2年生部門
土田 桃子さん



小学3年生部門
伊藤 千咲さん



小学4年生部門
一戸 結愛里さん



小学5年生部門
鵜野 遙成さん



中学2年生部門
野田 優心花さん

標語部門

『挨拶は 心を繋ぐ 合言葉』
中学3年生 長井 栞奈さん

ポスター・標語コンクールの目的

沼田町は時代の変化に関わらず「だれでも挨拶を交せる町」でありたいと考えています。地域の皆さんが顔見知りであることは、安心・安全な暮らしにもつながる重要な要素です。本コンクールは、そんな挨拶の重要性を応募者はもちろん、作品を見る全ての人たちに改めて考えてもらうことを目的としています。

金賞作品は3月中、役場庁舎、生涯学習総合センター「ゆめつくる」、健康福祉総合センター「ふれあい」、暮らしの安心センター、観光情報プラザ、まちなかほっとタウン、JR石狩沼田駅に掲示いたしますので、ぜひご覧下さい。

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課（電話 35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>





図書館バックヤード

『沼田町の古い地図を探しています』

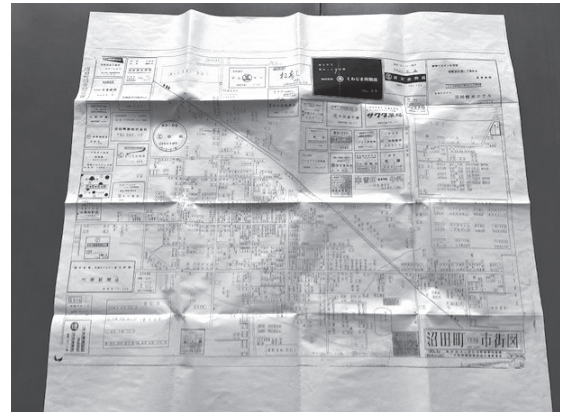
図書館では、沼田町に関する資料を収集保存しています。

書籍からフリーペーパーまでいろいろなものを集めているのですが、なかなか集めにくい資料があります。それは昔の地図です。

図書館にある沼田町の古い地図は全てコピーされたもので、原本はありません。年代で一番古いものは、昭和35年のものです。昭和42年や昭和61年の地図もありますが、今図書館にある年の地図以外にも発行されているのなら集めたいと思っています。

郷土資料は、その地域のことを調べるために有効な資料のひとつです。今は自分の先祖がどこに住んでいたかなどのルーツ探しのために郷土資料を読む方も多く、また沼田町に住んでいたのがわかっていた場合は地図を見るために来館する方もいるので、図書館では郷土資料の収集に力を入れています。

もしご自宅に古い地図や資料があるよ、という方はぜひ図書館にご一報ください。また、沼田町の古い地図を見たい場合は、カウンターで地図を見たい旨を伝えていただければお見せしますのでお気軽にお問い合わせください。



新刊図書

《一般書》

クロコダイル・ティアーズ	栗井 脩介
老人ホテル	原田 ひ香
栞と嘘の季節	米澤 穂信
リバー	奥田 英朗
レッドクローバー	まさきとしか
ぼけの壁	和田 秀樹
負けない人生	古川 智映子

《児童書》

妖怪の子預かります 8	廣嶋 玲子
ころりん・ぼい!	ひらぎみつえ
わたしがあんであげる	せなけいこ
こんとまゆみちゃん	いもとようこ
かいけつゾロリきょうりゅうママをすくえ!	原 ゆたか

新刊図書おすすめ!!



『変な家』
 作者：雨穴
 発行元：株式会社飛鳥新社

知人が購入しようとしている中古物件の間取りを見ると、謎の空間が存在した。著者が知人の設計士に間取り図を見てもらうと、謎の空間のほかに窓のない子供部屋などどんどんこの家の間取りに恐怖を覚えていく。

間取りに隠された謎、消えた元住人とは…。
 YouTube で話題になった不動産ミステリー。
 図書館には、同著者の『変な絵』も入りました。ぜひ2冊とも読んでみてください。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



令和4年度 住民健診の精密検査はお済みですか？

町が実施している住民健診を受診後、「異常あり」の状態を放置していませんか？

自覚症状がなくても、病気の早期発見、早期治療のため、精密検査が必要となった場合には、必ず病院を受診しましょう！

健診項目	令和4年度 精密検査受診率 (令和5年2月現在)	令和3年度 精密検査受診率	令和2年度 精密検査受診率	令和元年度 精密検査受診率
胃がん検診	42.9%	62.5%	72.7%	66.7%
大腸がん検診	62.2%	85.7%	74.4%	73.3%
肺がん検診	100%	100%	100%	85.7%
前立腺がん検診	69.2%	55.6%	71.4%	69.2%
子宮がん検診	対象なし	100%	100%	100%
乳がん検診	100%	100%	100%	100%
若年健診	54.5%	80.0%	60.0%	75.0%
特定健診	53.1%	60.3%	62.8%	71.4%
後期高齢者健診	100%	75.0%	50.0%	75.0%

※令和4年度は11月実施分の健診までを対象

今年度は、**肺がん検診、乳がん検診、後期高齢者健診**に関しては精密検査対象になった**全員が受診済み**です！

まだ精密検査を受けていない方は、お早めに受診しましょう。病院を受診される際には、健診結果一式をご持参ください。(精密検査はがきや手紙を紛失された方は、保健福祉課健康グループまでご相談ください。)

3ヶ月後、6ヶ月後経過観察対象の方も、時期が近づいたら忘れずに受診しましょう。



◆お問合せ先 保健福祉課健康グループ 電話 35-2120

ゼロカーボンへの取り組み

エコキャップを4カ月で126kgを回収しました

沼田町では、ゼロカーボン運動の取組としてペットボトルキャップを回収しており、10月1日から1月31日までの4カ月間、回収した結果126kg集まりました。

ここで集められたペットボトルキャップは、再生プラスチック原料として換金したものが医療支援、障がい者支援、子ども達への環境教育等様々な社会貢献活動に当てられます。

住民生活課の担当者は、「町民の皆様に協力していただき、たくさん集めることができました。引き続きエコキャップを回収し、ごみの減量化とゼロカーボン運動を推進していきたいです。」と話していました。

ペットボトルキャップ回収は、「燃えるゴミの日に透明な袋に入れて出す」か、役場、生涯学習総合センター「ゆめつくる」、健康福祉総合センター「ふれあい」等に設置されている回収ボックスで回収を行っておりますので町民皆さまのご協力よろしくお願いたします。



沼田町監査委員より定期監査の報告

去る、2月6日から8日までの3日間、沼田町監査委員による、沼田町の令和4年度会計(4月1日～12月31日まで)の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、町の事務・事業の執行状況とともに町のお金が住民のために最小限の経費で最大の効果を上げるよう効率的に使われているかを監査したものです。

監査の結果、事業の執行及び財務事務等全般については、適正に執行されていると認め、報告いたします。

沼田町監査委員 中村 保夫
" 高田 勲

人の動き

(令和5年2月28日現在)

人口 2,882人 (前月比 △ 3人)
男性 1,377人 (前月比 0人)
女性 1,505人 (前月比 △ 3人)
世帯数 1,447世帯 (前月比△1世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 5人 出生: 0人
減少) 転出: 4人 死亡: 4人

交通事故死ゼロ

(令和5年2月28日現在)

3,888日継続中!!

岩淵 蒼海くん 3月2日 出生 誕生月日 両親の名前 佑介さん・椎奈さん

うぶごえ

氏名	死亡月日	年齢	住所
三岩 和雄さん(男)	1月29日	83歳	幌比里
高橋富美子さん(女)	2月1日	97歳	旭町東
加藤 正明さん(男)	2月15日	85歳	緑ヶ丘
宮脇ナツ子さん(女)	2月24日	95歳	市内5
小蕎 康宏さん(男)	2月25日	79歳	旭町東
上村 巖さん(男)	3月9日	88歳	旭町東

おくやみ